



【坊やも爆睡、お母さんも爆睡、穏やかなラヨンの浜辺の昼下がり】

ホテルから車で**15分**も行けば、海に出る。

松林に沿った広い広い海岸線は、休みともなれば家族連れや仲間同士が集い賑う。

屋台も出るが、皆、思い思いの弁当やスナック、飲み物を持参し、喋りに興じる。

ここでよく見るのが、ハンモックである。

これに寝そべり、ヘッドフォンで音楽を聴いたり、本を読んだり、眠ったり……

何と気持ちのよさそうなことか。

「よし、私もこれだ」とばかりに、次の休みに向け、ハンモックを買いこむ。

取り付け用の紐と一式で**120**パーツ（約**450**円）

待ちに待った休みが来た。

ところが、ここで困難が待ち受けていた。

ハンモックは木と木の間に取り付けるのだが、その間の距離は短くても長くてもダメ。

さらに、ここが日陰でなくてはならぬ。

いい場所はどこも先人が確保済み。

探しに探しまくって、やっと設営にまでこぎ着け、その中に身を置いた時の満足感。

遠く砂浜に子供たちののはしゃぎ声、その合間に静かに分け入る潮騒の音。

宇宙遊泳のような微妙な心地の中に、しばしまどろむ。